

# 生活科学科学生の身支度に関する実態調査

—コース別特性と経時的変化—

A Survey of Community College Students on Dressing for School

—Differences by Major and Changes with the Passage of Time—

先川 直子

(Naoko SAKIKAWA)

## I. はじめに

目白大学短期大学部生活科学科では、昨年（2006年）7月の「学習技法の基礎Ⅰ（現・キャリア・デザインⅠ）」のクラスアワーの時間に、目白大学短期大学部学生の生活実態を明らかにするために1年生全員を対象に、学生の生活全般にわたる「目白大学短期大学部学生の生活実態調査」を実施した。

その調査内容と集計結果、およびそれをもとに行った分析と考察は、『目白大学短期大学部研究紀要』第43号（平成19年2月）に3報に分けて発表してある。その第2報の第Ⅰ章においては、朝の登校前の身支度の所要時間と費用に関して、生活科学科学生の全体的な傾向を明らかにした。

本稿では、まず、その生活実態調査における登校前の身支度の所要時間と費用について、さらに詳細にコース別に集計し、学生のコースによる差異と特性を明らかにし、生活科学科と一くりにしている学生に対して、コースごとのきめ細かな異なった対応が必要であるのか・否かを明らかにしたい。

次に、今年（2007年）7月に、昨年度の調査の回答者でもあるファッション・デザインコースの2年生を対象に同様のアンケート調査を実施した。この調査結果を集計・分析することにより、短大生活の1年間で、「衣服を選んで着る」・「化粧」・「髪の手入れ」に対する学生の意識や価値観がどのように変化したのか・しなかったのかを明らかにしたい。また、さらに踏み込んで、変化した、あるいは変化しなかった原因についても考察したい。

そして、これらの問題点を浮き彫りにして原因を明らかにすることによって、今後の指導の方向性を探ることを目的としている。

## Ⅱ. 2006年度の生活実態調査にみる身支度の時間と費用のコース別特性

生活科学科1年生へのアンケート調査で、遅刻の一因ともなっている朝の身支度における「衣服を選んで着る」、「化粧」、「髪の手入れ」の3項目に関する所要時間、および「衣服・アクセサリー」、「化粧・エステ」、「髪の手入れ」の3項目に「携帯電話」を加えた4項目の1ヶ月あたりの費用について調査を行った。

ここでは、身支度に関する3項目の所要時間と1ヶ月あたりの費用について、製菓・フード・ファッション・秘書・園芸の各コース別の結果を明らかにして、生活科学科学生のコースごとの動向と特性について考察したい。

### 1. 「衣服を選んで着る」

最初に、朝の「衣服を選んで着る」ために費やしている時間について、生活科学科の学生全体について集計したのが図1である。ここからは過半数の学生は20分未満で済ませているが、その一方でほぼ10人に1人は着ていく衣服を決めかねて1時間以上も費やしていることが分かる。

図1 衣服を選んで着る

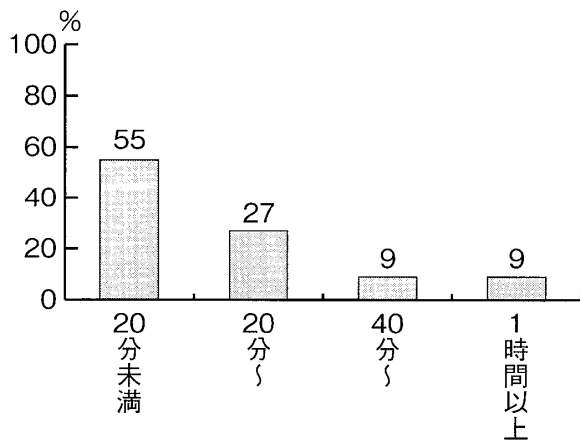
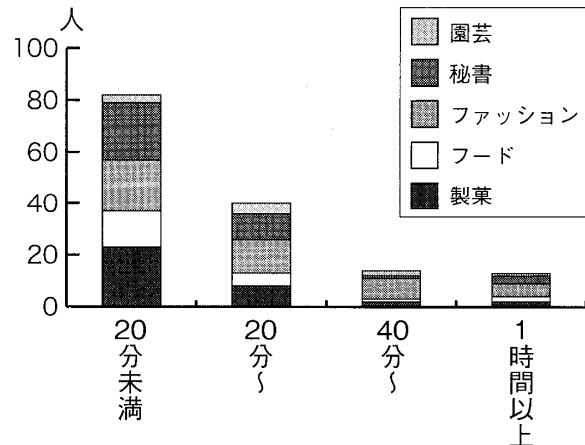


図2 衣服を選んで着る：コース別



これをコースごとに表したのが図2である。これを詳細にみていくと、20%未満の学生の割合は学科全体では55%であったが、コース別では、製菓：35人中23人（66%）、フード：22人中14人（64%）、ファッション：46人中20人（44%）、秘書：36人中22人（61%）、園芸：10人中3人（30%）であり、製菓の割合が最も高く、フードと秘書でもコースの3分の2近い学生がここに入っている。しかし、ファッションと園芸の割合は全体平均を大きく下回り、特に園芸ではその傾向は顕著で、製菓・フード・秘書コースの半分以下の割合であった。

20分以上40分未満は、製菓：23%、フード：23%、ファッション：28%、秘書：28%、園芸：40%と、園芸以外のコースは20%台であり、特に製菓とフード、ファッションと秘書がそれぞれ同じ割合であった。

40分以上1時間未満は、製菓：6%、フード：5%、ファッション：17%、秘書：2%、園芸：20%であり、秘書の割合が最も低く、園芸が最も高かった。特に、製菓・フード・秘書がともに数パーセントであるのに対して、園芸とファッションでは20%前後の数値であり、その他のコースの3～10倍もの高い割合を占めている。

1時間以上は、製菓：6%、フード：9%、ファッション：11%、秘書：8%、園芸：10%

であり、製菓が最も低く、続いて秘書・フード・園芸・ファッションの順であった。全体に大差ない数値ではあるが、それでも割合が最大だったファッションと最小だった製菓では2倍近い数値の開きが生じている。

このように、グラフは0分以上20分未満を最大値とする完全な右肩下りの形状を示しているが、コース間に大きな相違が見られ、製菓では所要時間の短い左寄りの傾向が強いのに対して、ファッションと園芸では20分未満から1時間以上まで全体に分散して分布している。

その原因を考察する時、衣服へのこだわりが最も強いファッションの学生と、実習の授業が多くて登校後にはすぐに実習着に着替える頻度の高い製菓の学生とでは、通学時の服装に対する意識が異なるということなのかも知れない。しかし、園芸に長時間の学生が多いことなどから推測すると、あるいは優柔不断で着ていく衣服を決めかねて鏡の前で迷っている学生が多いということも考えられるのではないだろうか。

なお、園芸がファッションと同様の傾向を示しているというのは、この調査結果の集計によって新たに気づいた事柄である。

## 2. 「化粧」

次に、朝の身支度で「化粧」のために費やしている時間について集計したのが図3である。これを見ると20分未満が28%、20分以上40分未満が55%、40分以上1時間未満が15%、1時間以上が2%となり、20分未満と20分以上40分未満の学生の割合が図1とほぼ逆の割合になっていることが分かる。

図3 化粧

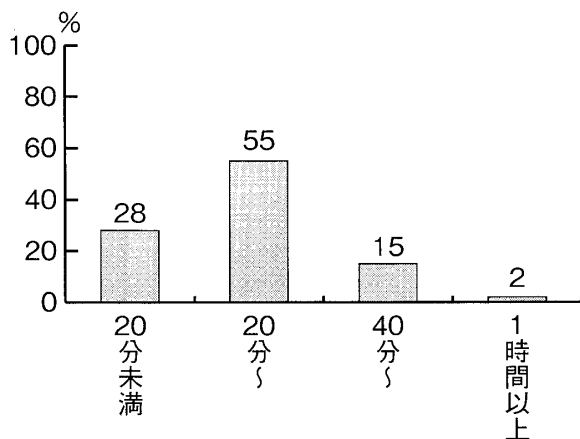
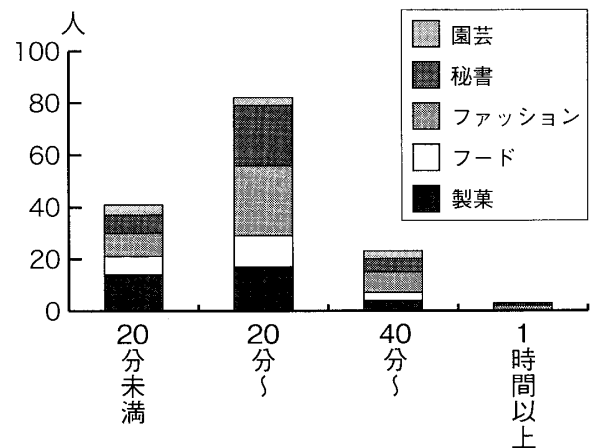


図4 化粧：コース別



コース別のグラフ(図4)をみると、20分未満の学生は製菓：14人(40%)、フード：7人(32%)、ファッション：9人(20%)、秘書：7人(19%)、園芸：4人(40%)となっており、製菓と園芸では4割の学生が20分未満であるのに対して、秘書とファッションではその半分の割合であった。

20分以上40分未満の割合は、製菓：49%、フード：55%、ファッション：59%、秘書：64%、園芸：30%と、園芸の数値が特別に低い。数値が最も高いのは秘書であるが、園芸以外のコースはほぼ類似した傾向を示し、2分の1から3分の2の学生がこの範囲に入っている。

40分以上1時間未満の割合は、製菓：11%、フード：14%、ファッション：17%、園芸：30%であり、製菓・フード・ファッションが10%台であるのに対して、園芸だけが30%と特に高い数値であった。

また、化粧に1時間以上費やしている2%の学生はファッション2人（4%）と秘書1人（3%）の合計3人であった。

したがって「化粧」においては、製菓では20分以上40分未満を頂点とするなだらかな山型を、ファッションと秘書では同じ範囲である20分以上40分未満を頂点とする急勾配の山型のグラフを形成しているのに対して、園芸では全体にほぼ均一に分散しているなど、「衣服を選んで着る」以上にコース間の違いが明白に出ている。

### 3. 「髪の手入れ」

朝の身支度における「髪の手入れ」(図5)では20分未満が59%、20分以上40分未満が37%、40分以上1時間未満が3%、1時間以上が1%となり、大多数の学生が40分未満であった。

図5 髪の手入れ

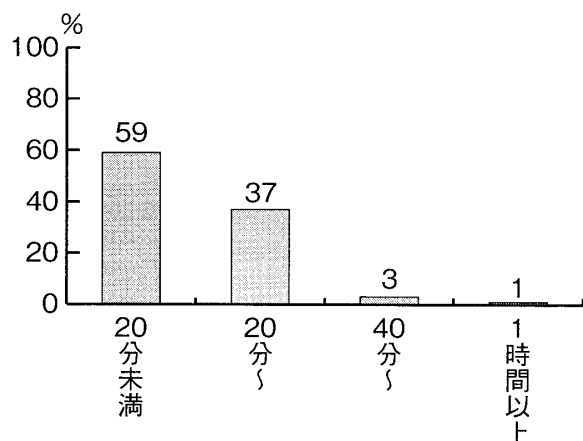
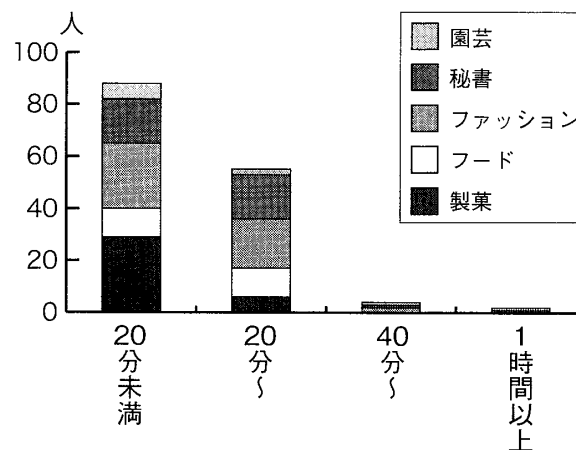


図6 髪の手入れ：コース別



コース別にみていくと、図6のように、20分未満の割合は、製菓：29人（83%）、フード：11人（50%）、ファッション：25人（54%）、秘書：17人（47%）、園芸：6人（60%）であり、製菓では8割以上の学生が、その他のコースでは約半数の学生がこの範囲に入っている。

20分以上40分未満の割合は、製菓：17%、フード：50%、ファッション：41%、秘書：47%、園芸：20%であり、製菓と園芸がともに20%前後で、その他の3コースはともに40%～50%と、2つに分かれていることが分かる。

なお、40分以上1時間未満は、ファッション：4%、秘書：3%、園芸：10%であり、1時

間以上は、秘書：3%、園芸：10%である。

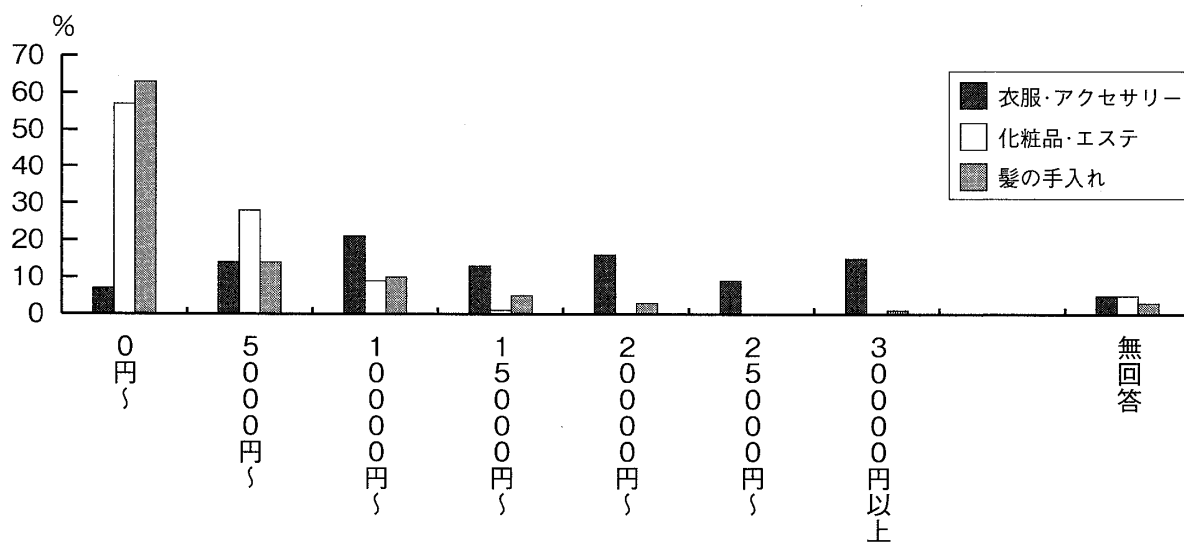
このように、製菓とフードの学生は全員が40分未満であり、他のコースも大部分の学生が40分未満であることが判明した。しかし、製菓の学生は20分未満の割合が非常に高く、他の項目と同様に短時間で行っていることが明らかであるが、その他のコースは20分未満と20分以上40分未満の割合が拮抗していることが分かる。

一方、ファッションには40分以上1時間未満の学生が2人、秘書と園芸には40分以上1時間未満および1時間以上の学生がそれぞれ各1人ずつおり、これに関してもファッションよりも園芸の方が時間をかけている学生の割合が多いことが分かった。

#### 4. 身支度の費用

上記の3項目に対する1ヶ月あたりの費用については図7のようになっている。このグラフをみると「衣服・アクセサリー」は分散型の分布であるが、「化粧品・エステ」と「髪の手入れ」は右肩下がりの傾向を示していることが分かる。

図7 身支度の費用



具体的に見ていくと、「衣服・アクセサリー」では1万円以上1万5千円未満の人数が最も多い(21%)ものの全体にばらついており、3万円以上の割合が大きいのは秘書8人(22%)、ファッション9人(20%)で、最高額はファッションの1人の10万円であった。一方、園芸では3万円以上は皆無である。

「化粧品・エステ」では5千円未満が85人(57%)、「髪の手入れ」では94人(63%)と非常に大きい割合を占めており、両方とも金額が多くなるほど人数は減少する右肩下がりのグラフになっている。

「化粧品・エステ」で最も高額な1万5千円以上2万円未満の出費をしているのはファッションと秘書が1人ずつである。また、「髪の手入れ」では他の学生は全員2万5千円未満であるの

に対して、ファッションの2人だけが3万円以上と回答しており、他の学生と大きく隔たったものとなっている。これはエクステンションを付けたりということが原因であると考えられる。

### Ⅲ ファッション・デザインコース学生における追跡調査

昨年7月の「生活実態調査」の後、担任としては、遅刻・欠席等の生活指導の他に、就職活動もあったため、服装や髪型についても、かなり厳しく指導を続けてきたつもりである。そこで、担当コースの学生たちが、短大生活の1年でどのように変化したのか・しなかったのかを探るべく、昨年度と同様の質問事項と、1年間で「変化したか」・「しなかったか」の項目を加えて、2007年7月にファッションコース2年生を対象にアンケート調査を実施した。

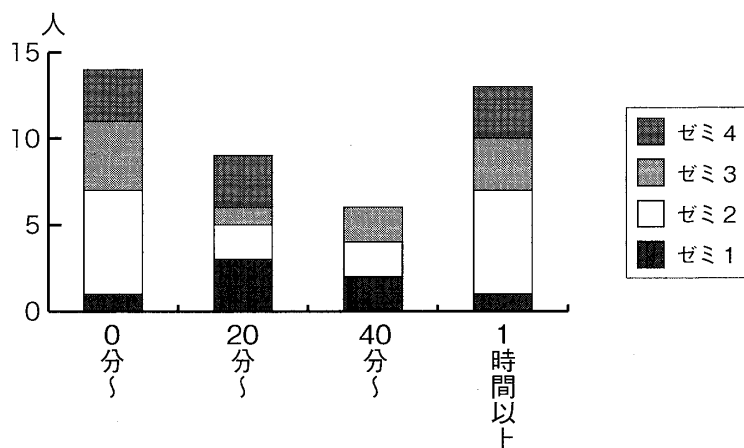
ファッションコース2年生は「もの作り」(以後「ゼミ1」と略す)、「アパレル研究」(以後「ゼミ2」と略す)、「ファッション研究」(以後「ゼミ3」と略す)、「デザイン研究」(以後「ゼミ4」と略す)の4ゼミに分かれており、「ゼミ1」と「ゼミ2」の2ゼミを担当が担当している。

アンケートの回収数はゼミ1：7名、ゼミ2：16名、ゼミ3：10名、ゼミ4：9名の、合計42名である。

#### 1. 「衣服を選んで着る」

朝の登校前に、衣服を選んで着るためにどのくらいの時間を費やしているかを調査して集計したのが図8である。

図8 衣服を選んで着る



これをみると、20分未満が14人(33%)、20分以上40分未満が9人(21%)、40分以上1時間未満が6人(14%)、1時間以上が13人(30%)であり、20分未満と1時間以上がそれぞれ3分の1程度を占める二極化した分布であることが分かる。

特に、ゼミ2では16人中、順に6人・2人・2人・6人と、20分未満と1時間以上がそれぞれ

れ6人で完全に二極分解しており、ゼミ3でも10人中で、4人・1人・2人・3人と、同様の分布になっている。ゼミ4では、3人・3人・0人・3人である。一方、ゼミ1では、順に1人・3人・2人・1人と正規分布に近い山型の分布になっている。

しかも1時間以上と回答した中には2時間以上の3人と1時間30分の3人がいる。したがって、コースの2年生の約3分の1の学生が数分で着替えを終えている反面、毎朝鏡の前で1時間半から2時間も着ていく衣服を決めかねて何度も着替えている学生が14%もいることが明らかになった。

所要時間については、1年の時と比べて「変化なし」との回答が27人（64%）である半面、「長くなった」と回答した学生が9人（21%）いる。特に、ゼミ3では10人中半数の5人が「長くなった」と回答している。

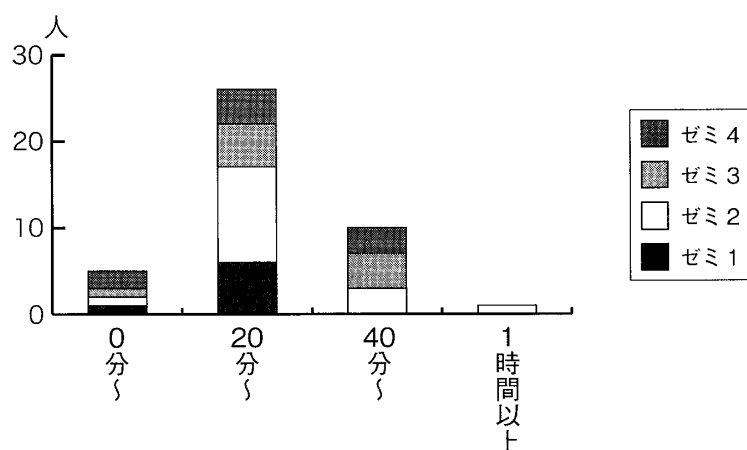
また、衣服の種類については、1年のときと比べて全体で20人（48%）の学生が「変化した」と回答している。具体的には、変化した学生の割合はゼミ1では29%であるが、その他のゼミでは50%～60%の学生が変化したと回答している。

## 2. 「化粧」

化粧の所要時間については、図9で示すように、全体では20分未満5人（12%）、20分以上40分未満26人（62%）、40分以上1時間未満10人（24%）、1時間以上1人（2%）と、20分以上40分未満が6割以上を占める山型の分布になっている。

昨年の1年生の時は順に22%、59%、17%、4%であったから、1年の時と比べて両端の割

図9 化粧



合が小さくなり、中央部分は増加し、急勾配の山型になっていることがわかる。

ただし、ゼミ1は全員40分未満であるのに対して、40分以上1時間未満がゼミ2では20%、ゼミ3では40%、ゼミ4では33%おり、さらに、ゼミ2には1時間以上との回答が1人（6%）いた。

化粧時間については、1年の時と比べて「変化なし」が30人（71%）であるのに対して、「長くなった」が3人（7%）、「短くなった」が8人（19%）いた。

化粧法については、ゼミ1は全員が「変化なし」であるが、ゼミ2では5人（31%）、ゼミ3では3人（30%）、ゼミ4では4人（44%）が「変化した」と回答している。

上記の化粧時間と化粧法の分布からは、ゼミ1では元来所要時間も少なく派手な化粧もされおらず、そのまま変化することなく学生生活を1年間過ごしていることが分かる。

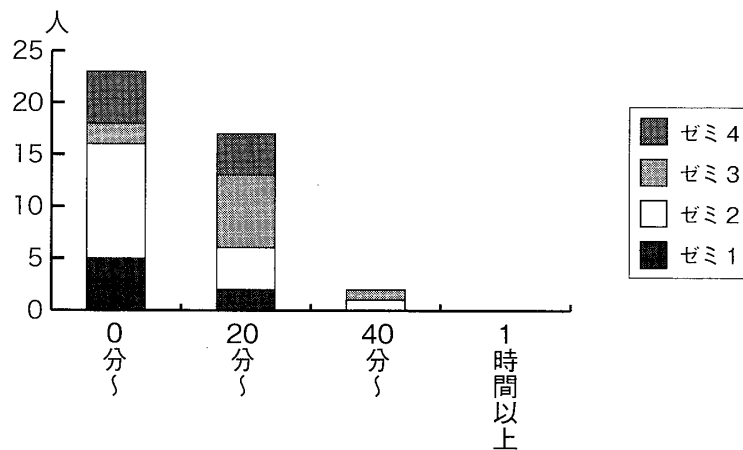
実際、おとなしい性格でギャルを嫌っているのもこの層の学生であり、物を作るのが好きというよりも、一番真面目な学生がいるからとの理由で、このゼミを選択している学生がいることも事実である。

特に、ゼミ3とゼミ4では3分の1ないし4割の学生が40分以上化粧に費やしており、ゼミごとの違いが明らかに出ている。

### 3. 髪の手入れ

朝の登校前の髪の手入れの所要時間は、図10に示すように、20分未満23人（55%）、20分以上40分未満17人（40%）、40分以上1時間以内2人（5%）の、完全な右肩下がりの分布である。

図10 髪の手入れ



1年生の時の割合は順に54%、41%、4%であったから、ほとんど変化していないことが分かる。

学生自身の回答でも、「変化なし」が35人（83%）、「長くなった」3人（7%）、「短くなった」4人（10%）となっている。

しかし、髪型・手入れ法については「変化した」が10人（23%）いる。それを詳細にみると、ゼミ1では1人（14%）、ゼミ2では5人（31%）、ゼミ3では3人（30%）、ゼミ4では1人（11%）となっている。



ここで、学生の就職活動状況と重ね合わせるにより、会社訪問時と通学時では全く別であることが可能な服装や化粧と異なり、一度切ってしまうと暫くは短いままである髪形等において、相関性を論じてみたい。

表1 就職活動状況（2007.7.20現在）

	ゼミ1	ゼミ2	ゼミ3	ゼミ4
まだしていない	0	2	2	4
就職活動中	5	7	5	3
就職活動終了	2	7	3	2
合計	7	16	10	9
内定者	3	11	3	2
内定の出た時期	6月-3人	4月-5人 5月-3人 6月-2人 7月-1人	4月-1人 7月-2人	4月-1人 5月-1人

表1はアンケート調査に回答したファッションコース2年生42名の2007年7月20日までの就職活動状況である。就職状況自体の分析と考察は本稿では割愛し、この項目との関連性的をしばってみていくことにする。

元来学生らしい髪型の多いゼミ1ではそのまま就職活動に臨んでいることもあって変化した割合はさほど多くないが、それ以外では、早くから就職活動を行い、多くの学生が4月以降次々に内定をもらってきたゼミ2と、6月の担任のてこ入れ以降に本格的な就職活動を開始して7月後半に入ってかなり内定をもらいつつあるゼミ3で髪型等について「変化した」と回答している学生が多い反面、半数近い学生がまだ就職活動をしていないゼミ4では「変化した」との回答は1名だけであった。

したがって、元来学生風の髪型で、そのまま就職活動を行った学生以外では、就職活動のために変化したというのが実情であり、就職活動から取り残された学生は1年生のときのままでいるという現状が浮き彫りにされた。

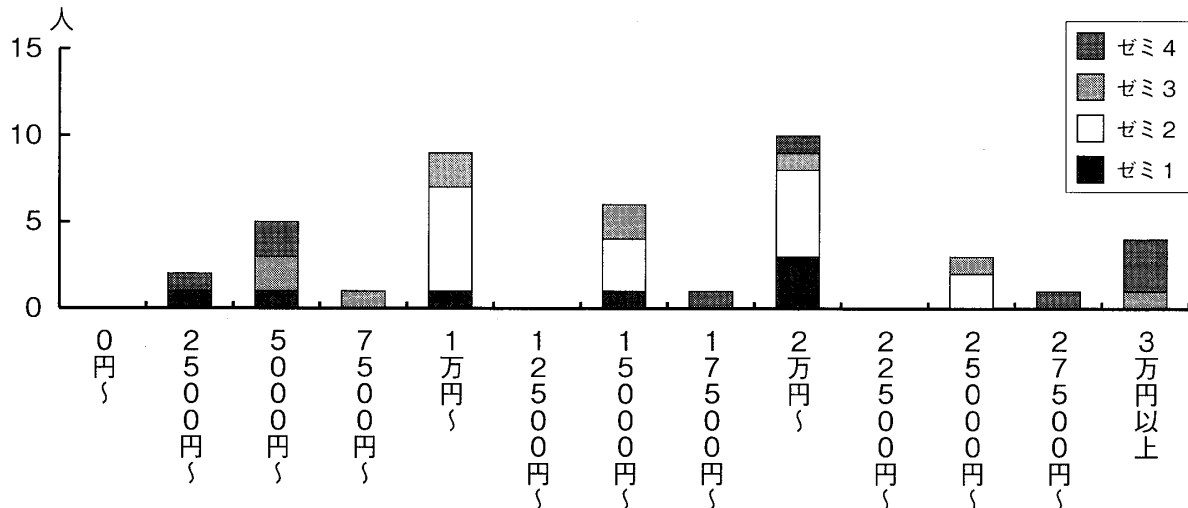
しかし、コース担任がゼミ担当を外れた学生においては、担任との授業での接触がないため、担任からの就職に関する情報も届かないまま、他の学生が変化しているのにも気づかずに、1年生の時の気分のままで学生生活を送っていると思われる。現在のカリキュラムにおいて、そのような学生が存在してしまっていることは、早急に改善を要する大きな問題であると言える。

#### 4. 身支度の費用

上記の3項目に対応する「衣服・アクセサリ」「化粧・エステ」「髪の手入れ」の3項目に

対する1ヶ月あたりの費用について集計して作成したのが図11から図13であり、それぞれの横軸は金額、縦軸は人数を示している。

図11 費用：衣服・アクセサリ



それぞれの棒グラフを具体的にみていくと、「図11 費用：衣服・アクセサリ」では2万円以上22500円未満が10人（24%）と最も多く、次いで1万円以上12500円未満が9人（21%）、15000円以上17500円未満6人（14%）、5000円以上7500円未満5人（12%）、3万円以上4人（10%）、25000円以上27500円未満3人（7%）、2500円以上5000円未満2人（5%）、7500円以上1万円未満と17500円以上2万円未満と27500円以上3万円未満が各1人（2%）と、全体にばらつきながらも、ほぼ山型の分布になっている。

これをゼミ別にみていくと、ゼミ1とゼミ3ではともに分散型の分布を示している。しかし、ゼミ1では2500円～22500円未満の間にほぼ均等に分散しているのに対して、ゼミ3ではその金額が5000円から3万円以上と高額方向にグラフがシフトしていることが分かる。

一方、ゼミ2ではこれらのグラフと全く異なり、1万円未満と27500円以上は皆無であり、中央部分に集中している山型の分布をしており、逆にゼミ4では両端の5000円未満と3万円以上がそれぞれ3分の1ずつおり、中間値が低く両端が高い完全な谷型の分布をしており、二極化が著しいことが分かる。

その原因を考察すると、ゼミ1は最も地味でおとなしいもの作りのゼミであるため、個性的な学生の多いゼミ3と同様の形状の分布とは言うものの、全体的に数値が低いのであろう。

ゼミ2は前述のように、いち早くアパレルの販売職を中心とした就職内定をもらっている学生たちの所属しているゼミであるため、あまり地味でもなく・派手でもなく中央部分に集中していると言えよう。

反面、就職活動を全くしていない学生が半数近くいるゼミ4では、衣服にお金をかけない学生と極端にかける学生の二極化が進んでいることが分かる。

また、金額についての学生自身の回答は、1年生の時と比べて「変化なし」が30人（71%）で、「高額になった」が9人（2%）、「少額になった」が2人（5%）であるが、実際は1年生の時と比べると3万円以上が9人から4人に減少するなど、高額を支出をする者の割合は減少している。

実感と実際の数値とにギャップを生じているのは、昨年の調査は入学して4ヶ月に満たない時期であり、高校時代に制服を着用していた学生にとっては、短大生になって私服通学のために季節ごとに新しい衣服を購入していたが、今年はそのようなことが少なくなったということが一因かもしれない。

「図12 費用：化粧・エステ」のグラフは5000円以上7500円未満15人（36%）、2500円以上5000円未満12人（29%）と、2500円から7500円までのが全体のほぼ3分の2を占めており、全員が12500円未満の左端に寄った分布であった。

図12 費用：化粧品・エステ

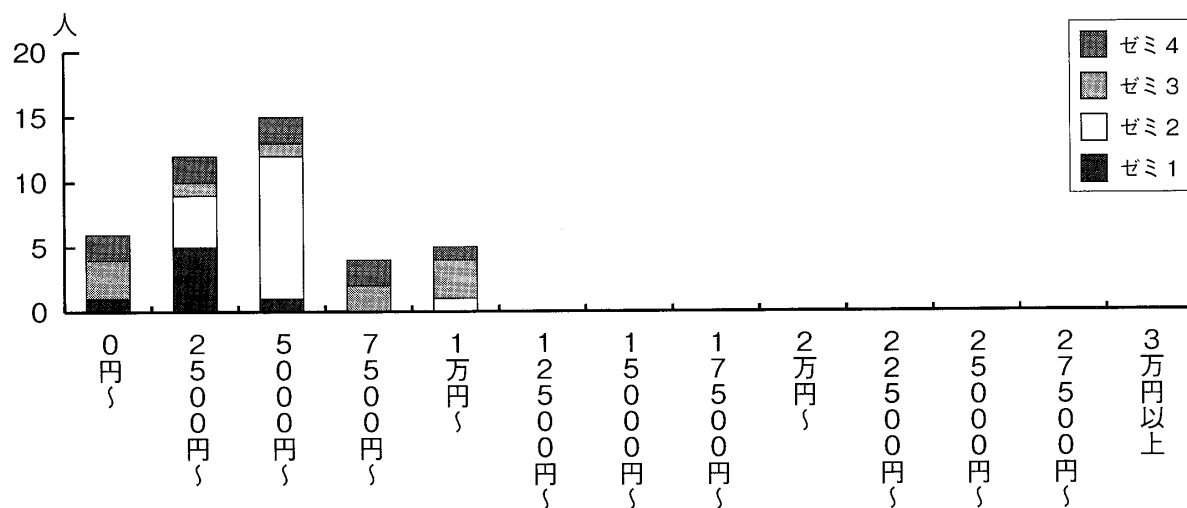
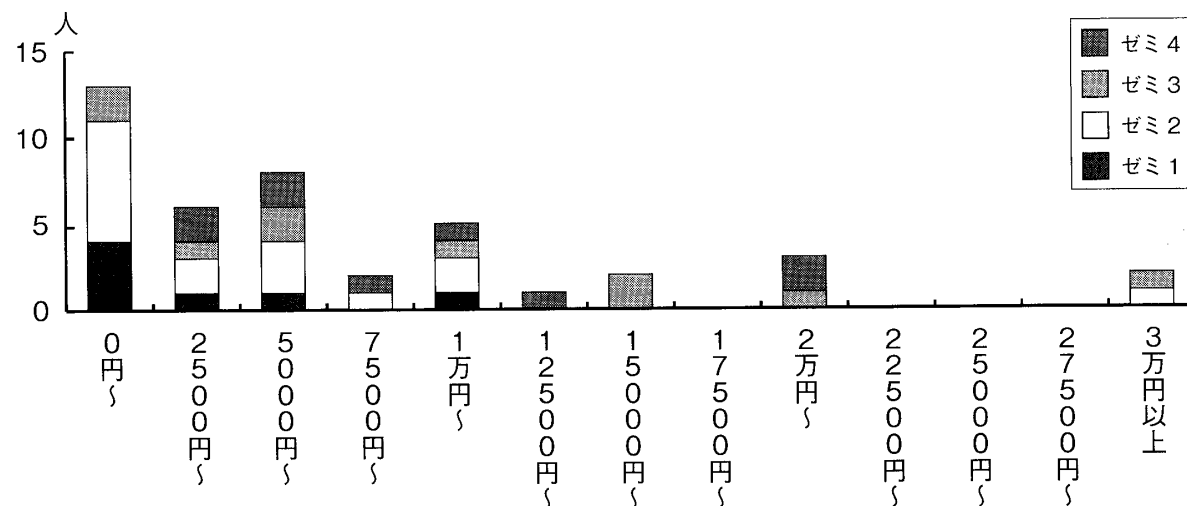


図13 費用：髪の手入れ



しかし、ここでもゼミ1では全員が7500円未満であり、2500円以上5000円未満の学生が5人(71%)あるのに対して、ゼミ3では半数が7500円以上出費しており、特に1万円以上出費する学生が30%もいる。ゼミ4では各金額に分散している。

「図13 費用：髪の手入れ」では2500円未満が13人(31%)、2500円以上5000円未満が6人(11%)、5000円以上7500円未満が8人(19%)、7500円以上1万円未満が2人(5%)、1万円以上12500円未満が5人(12%)と続く完全に右肩下がりのグラフになっており、7割の学生が1万円以下であり、特に2500円以下が3割以上を占めている。

しかし、2万円台3人、3万円以上2人と全体の12%にあたる学生が2万円以上の出費をしている。特に、ゼミ3においては15000円以上17500円未満2名(20%)・2万円以上22500円未満1名(10%)・3万円以上1名(10%)と高額の出費をしている割合が多い。

ゼミ4においては2500円未満が0人で、全体の分布状況よりも右寄りの高額にシフトした分布になっている。

#### Ⅳ おわりに

Ⅱの2006年度における生活実態調査の結果をみると、次のことが明らかになった。

1. コースによって、朝の身支度の所要時間には大きな違いがある。特に、製菓とファッションでは大きく異なっている。
2. 園芸が登校前の身支度の各項目で、長時間を費やしている学生の割合が大きい。
3. フードは製菓に似た分布をしている。
4. 「衣服を選んで着る」のに毎朝1時間以上かけている学生が13人(9%)おり、ファッションと園芸では1割を超えている。
5. 「衣服を選んで着る」の所要時間の長い学生が「化粧」や「髪の手入れ」での所要時間も長くなっている。

その結果、朝の登校前の身支度に2～3時間も費やしている学生がファッション・秘書・園芸の各コースにいたことが判明した。

身支度にこれほどの時間をかけている場合は、いかに通学時間が短くて、さらに朝食抜きであってさえも、6時台に起床しない限り、1時限の授業に遅刻せずに出席することは不可能となる。朝早く起きるのが苦手な学生や、新宿周辺ないしは23区内よりも都下および埼玉・千葉・神奈川など周辺地域からの長時間通学の学生が多いという現状を考えると、「早く来るように!」とか「遅刻するな!」といった注意も、学生の上を素通りし、学生の耳には届いていないのであろうと思われる。授業への出席よりも身支度を優先させている学生たちに対して、1時限の授業への出席をどのように指導していくのが大きな問題であることは明白である。

Ⅲにおける今年度のファッション・デザインコース2年生への調査結果からは、1年生の時に登校前の身支度の所要時間が他と比べて全体的に長かったファッション・デザインコースにおいて、1年後には「衣服を選んで着る」のに1時間半ないし2時間を費やしている学生が出

現するなど、1年次の状況が改善されるどころか、むしろ長くなっていることが判明した。

「化粧する時間があったら、その分早く来るように!」とか「遅刻をするな!」とか1年間指導し続けても毎回遅刻をして入ってくる学生にとっては、授業に出ることよりも、「衣服を選んで着る」ことや「化粧」などが、ずっと重要なのであり、その認識は結局1年間変化しなかった。

2年生になって、時間割に余裕が出て、1時限の授業を履修しない学生が増えていることも一因ではあろうが、それでもやはり身支度に毎朝3時間以上費やしているのは異常ではないだろうか。まして、その結果、2時限目の授業でも間に合わず、遅刻の連続や欠席がちになり、出席不良による失格で単位を修得できない学生も目立っている。

特に、就職活動を行っていない学生においては、その傾向は顕著であり、朝の登校前の身支度に関する調査結果と学生生活、さらには学生の生き方に対する意識との間には大きな相関関係が見られることが明白になった。

ファッション・デザインコースでは比較的地味でおとなしく真面目にコツコツやるタイプの学生集団と、学習意欲が高く方向さえ示せば自分からどんどん就職活動をして内定をいくつももらってくる学生、学習意欲もなく化粧やネイルアートにエネルギーを注ぎ、自分からは全く就職活動をせず、このまま放っておくと卒業も危ぶまれ、何とか卒業してもフリーターになってしまう確率の高い学生との3グループに分かれていることが、身支度の時間や費用の面からも明らかになった。特に、第3のグループの学生は就職活動のためのエントリーシートの書き方の相談に、自ら進んで担任のもとを訪れることなど皆無である。そして、就職活動中の学生が就職セミナーや説明会、会社訪問などに費やしている時間を、これらの学生はアルバイトに向けていることが多く、必然的に高額収入を得て、それを自分の自由になる小遣いとして、自身のおしゃれや遊興のために使っているため、高額支出が可能になっていることも明白である。

したがって、ゼミの担当者がコース担任以外になったことは学生のわずかに残っていた変化・変革の機会さえも奪ってしまうことだったのかもしれない。そして、担任と全く顔を合わせないまま、厳しく注意されることもなく、就活の情報も届かず、呑気に1年生の時の延長線上で、時間割に余裕が出た分はさらにおしゃれをすることに費やし、将来を考えることなく今が楽しければOKといった価値観のまま過している学生をどう指導していけば良いのかは、大きな問題であると考えざるを得ない。

しかし、担任の手を離れたままで、各授業の担当者にその任を負ってもらうことは不可能と思われる。やはり、2年次でも担任の担当する授業を履修させ、そこで就職活動がらみで生活状況を変えさせるよう指導していくこと以外に方法はないのではなかろうか。

**【参考文献】**

- 1) 井上和子・西谷正弘・佐藤啓子・大出英子・砂盃ひとみ・先川直子：「目白大学短期大学部学生の生活実態調査（第1報）―食事、運動、休養、飲酒、喫煙―」、『目白大学短期大学部研究紀要』第43号、2007年
- 2) 先川直子・西谷正弘・大出英子・砂盃ひとみ・佐藤啓子・井上和子：「目白大学短期大学部学生の生活実態調査（第2報）―身支度、授業態度、アルバイト、読書及び図書館の利用―」、『目白大学短期大学部研究紀要』第43号、2007年
- 3) 佐藤啓子・大出英子・西谷正弘・先川直子・井上和子・砂盃ひとみ：「目白大学短期大学部学生の生活実態調査（第3報）―職業に関する意識と環境問題に関する意識について―」、『目白大学短期大学部研究紀要』第43号、2007年
- 4) NHK放送文化研究所編：『国民生活時間調査 データブック 2005』、日本放送出版協会、2006年
- 5) 鳥居徹也：『フリーター・ニートになる前に読む本』、三笠書房、2005年
- 6) 内閣府編：『国民生活白書 平成18年版』、時事画報社、2006年
- 7) 内閣府編：『青少年白書 平成18年版』、国立印刷局、2006年
- 8) 日本生活学会編：『生活学事典』、TBSブリタニカ、1999年
- 9) 日本能率協会総合研究所編：『ニッポン人の生活時間データ総覧 2006年版』、生活情報センター、2006年
- 10) 三浦展：『下流社会 新たな階層集団の出現』、光文社、2005年
- 11) 『2008 ファッション界就職読本』、アパレルルーム、2007年

(生活科学科 共同研究) 女子短大生の生活調査 (2006年7月実施)

該当するところに○印をつけてください。

下線のところには言葉あるいは数字を入れてください。

(設問9、10のみ抜粋して掲載)

9. 朝の身支度について、どのくらいの時間をかけているか、あてはまるものに○をつけてください。

1) 衣服を選んで着る

- ① 0分～ ② 20分～ ③ 40分～ ④ 1時間以上 (具体的に 時間 分)

[特記事項]

2) 化粧

- ① 0分～ ② 20分～ ③ 40分～ ④ 1時間以上 (具体的に 時間 分)

[特記事項]

3) 髪の手入れ

- ① 0分～ ② 20分～ ③ 40分～ ④ 1時間以上 (具体的に 時間 分)

[特記事項]

10. 次の4項目のそれぞれに出費する1ヶ月あたりの金額はおおよそどのくらいですか

1) 衣服・アクセサリ

- ① 0円～ ② 2500円～ ③ 5000円～ ④ 7500円～ ⑤ 1万円～  
⑥ 12500円～ ⑦ 15000円～ ⑧ 17500円～ ⑨ 2万円～ ⑩ 22500円～  
⑪ 25000円～ ⑫ 27500円～ ⑬ 3万円以上 (具体的に 円)

[特記事項]

2) 化粧品・エステ

- ① 0円～ ② 2500円～ ③ 5000円～ ④ 7500円～ ⑤ 1万円～  
⑥ 12500円～ ⑦ 15000円～ ⑧ 17500円～ ⑨ 2万円～ ⑩ 22500円～  
⑪ 25000円～ ⑫ 27500円～ ⑬ 3万円以上 (具体的に 円)

[特記事項]

3) 髪の手入れ

- ① 0円～ ② 2500円～ ③ 5000円～ ④ 7500円～ ⑤ 1万円～

- ⑥ 12500円～ ⑦ 15000円～ ⑧ 17500円～ ⑨ 2万円～ ⑩ 22500円～  
⑪ 25000円～ ⑫ 27500円～ ⑬ 3万円以上 (具体的に 円)

[特記事項]

**身支度等に関するアンケート調査 (ファッション・デザインコース2年用)**

(2007年7月実施)

昨年夏のアンケート調査以降どのように変化しているのか・いないのか、また、その原因は何かを探ることにより今後の指導とカリキュラム編成に活かしていきたいので、協力をお願いします。

(担任 先川直子)

朝の身支度について、どのくらい時間をかけているか、当てはまるものに○をつけてください。

4) 衣服を選んで着る

- ① 0分～ ② 20分～ ③ 40分～ ④ 1時間以上 (具体的に 時間 分)

1年の時と比べて

- 時間： ① 変化なし ② 長くなった ③ 短くなった

〔②、③の理由〕

衣服の種類： ① 変化なし ② 変化した

〔②の理由〕

1. 自分の好みが変わった 2. 友人の影響 3. 親の意見 4. 教師の意見  
5. 就職活動 6. その他 (具体的に

5) 化粧

- ① 0分～ ② 20分～ ③ 40分～ ④ 1時間以上 (具体的に 時間 分)

1年の時と比べて

- 時間： ① 変化なし ② 長くなった ③ 短くなった

〔②、③の理由〕

化粧法： ① 変化なし ② 変化した (どのように?)



〔②の理由〕

1. 自分の好みが変わった
2. 友人の影響
3. 親の意見
4. 教師の意見
5. 就職活動
6. その他（具体的に

3) 髪の手入れ

- ① 0分～
- ② 20分～
- ③ 40分～
- ④ 1時間以上（具体的に 時間 分）

1年の時と比べて

- 時間： ① 変化なし ② 長くなった ③ 短くなった

〔②. ③の理由〕

髪型・手入れ法： ① 変化なし ② 変化した（具体的に

〔②の理由〕

- 1 自分の好みが変わった
2. 友人の影響
3. 親の意見
4. 教師の意見
5. 就職活動
6. その他（具体的に

次の3項目のそれぞれに出費する1ヶ月あたりの金額はおおよそどのくらいですか

1) 衣服・アクセサリ

- ① 0円～
- ② 2500円～
- ③ 5000円～
- ④ 7500円～
- ⑤ 1万円～
- ⑥ 12500円～
- ⑦ 15000円～
- ⑧ 17500円～
- ⑨ 2万円～
- ⑩ 22500円～
- ⑪ 25000円～
- ⑫ 27500円～
- ⑬ 3万円以上（具体的に 円）

1年の時と比べて

- ① 変化なし
- ② 多額になった
- ③ 少額になった

〔②. ③の理由〕

2) 化粧品・エステ

- ① 0円～
- ② 2500円～
- ③ 5000円～
- ④ 7500円～
- ⑤ 1万円～
- ⑥ 12500円～
- ⑦ 15000円～
- ⑧ 17500円～
- ⑨ 2万円～
- ⑩ 22500円～
- ⑪ 25000円～
- ⑫ 27500円～
- ⑬ 3万円以上（具体的に 円）

1年の時と比べて

- ① 変化なし
- ② 多額になった
- ③ 少額になった

〔②. ③の理由〕

3) 髪の手入れ

- ① 0円～ ② 2500円～ ③ 5000円～ ④ 7500円～ ⑤ 1万円～  
⑥ 12500円～ ⑦ 15000円～ ⑧ 17500円～ ⑨ 2万円～ ⑩ 22500円～  
⑪ 25000円～ ⑫ 27500円～ ⑬ 3万円以上 (具体的に 円)

1年の時と比べて

- ① 変化なし ② 多額になった ③ 少額になった  
〔②、③の理由〕

就職活動について

- ① まだしていない ② 活動中 ③ 活動終了

①の人：理由は何ですか？

②、③の人：

就活をはじめたきっかけ (複数回答可)

1. 進路ガイダンス 2. 友人 3. 親・兄弟 4. クラス担任  
5. ゼミの先生 6. 何となく 7. その他 (具体的に

就活について相談したのは (複数回答可)

1. 進路指導課 2. 友人 3. 親・兄弟 4. クラス担任 5. ゼミの先生  
6. 相談しない 7. その他 (具体的に

就職セミナー・説明会に最初に行った時期

昨年12月 今年1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 その他 (

会社に最初にエントリーした時期

昨年12月 今年1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 その他 (

内定をもらっている人は、内定が出た時期

3月 4月 5月 6月 7月 その他 (

クラス担任とゼミ担当が ① 同じ ② 異なる

①、②それぞれの、就活に関しての利点・欠点などを、自由に書いてください。